事業の概況

景況感が改善

当中間連結会計期間(2006年1月1日~2006年6月30日)におけるわが国経済は、設備投資の拡大と個人消費の回復を背景に、企業収益の改善が大手企業から中堅・中小企業へ、製造業から非製造業へと着実に広がり、金融不安の解消とともに景況感が改善しております。

企業の高いIT投資意欲

当社グループの属するIT関連業界におきま しては、生き残りをかけた企業の高いIT投資 意欲に支えられ、引き続き堅調に推移してお ります。とりわけネットワーク環境を含む情報 システムのアップグレード需要、情報セキュリ ティ対策の強化、パッケージソフト導入のニー ズは強く、システム管理運営等のアウトソーシ ングニーズも増加傾向にあります。但し、情報 システムの費用対効果の明確化や運用コスト を含めたトータルコスト削減の要求は依然強 いものがあります。特に、中小企業においては ITに詳しい人材が不足気味であるため、新製 品情報や他計事例のタイムリーな提供、製品 の比較や選定・組み合わせ、カスタマイズ対 応、IT教育・指導、日常的なトラブル対応等、 お客様をトータルかつワンストップでサポート することがますます求められる状況となってきております。

お客様のビジネスチャンス拡大を支援

このような状況の中で、当社グループでは2006年度のスローガンを「お客様の目線で、信頼に応える」とし、独自開発の顧客管理および営業支援システム「SPR」の機能強化と活用促進をより一層図りながら、お客様のコスト削減や生産性向上、ビジネスチャンス拡大等を支援する最適なシステムの提案を積極的に行いました。



具体的には、当社グループの強みである複写機、コンピュータ、FAX、電話機、回線などを組み合わせた複合システム提案を積極的に行い、情報セキュリティ関連ビジネス、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」等の重点戦略事業に引き続き注力しました。また、お客様の業務をサポートする新たなサービスメニューの開発に努めました。



たのめーるカタログ Vol.16



インターネットたのめーる http://www.tanomail.com

売上高7.0%**増収 営業利益**14.6%**、中間純利益**21.7%**増益**

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高2,262億40百万円(前年同期比7.0%増)営業利益162億42百万円(前年同期比14.6%増)経常利益164億34百万円(前年同期比14.7%増)中間純利益96億2百万円(前年同期比21.7%増)と、増収増益となりました。

(単位:百万円)

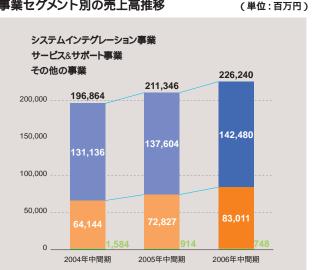
			-
	2005年中間期	2006年中間期	
	金額	金額	増減率
売上高	211,346	226,240	+7.0%
営業利益	14,177	16,242	+14.6%
経常利益	14,331	16,434	+14.7%
中間純利益	7,889	9,602	+ 21.7%

事業セグメント別の概況

システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、 搬入設置丁事、ネットワーク構築まで最適なシ ステムを提供するシステムインテグレーション 事業では、オリジナルのナレッジマネジメント システム「ODS21」や統合型基幹業務システ ム「SMILEシリーズ」に注力した結果、カラー 複写機、サーバ、情報セキュリティ関連商品の 販売が好調に推移し、売上高は1.424億80百 万円(前年同期比3.5%増 となりました。

事業セグメント別の売上高推移



サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフ オンサポート、教育等によりシステム導入後 をトータルにサポートするサービス&サポート 事業では、Webサイトおよびカタログによる オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」 が好調に推移し、OAサプライを中心に高伸 長を続けたことに加えて、情報セキュリティ関 連サービスを含む保守等が堅調であったこと から、売上高は830億11百万円(前年同期比 14.0%増 と二桁伸長しました。

その他の事業

その他の事業では、売上高は7億48百万円 (前年同期比18.2%減 となりました。

ODS21:紙文書をデジタル複写機でデータ化 し、他のデジタルデータとの一元管理 により情報を共有、活用するナレッジ マネジメントシステム。

SMILE: 当社オリジナルの統合型基幹業務シ ステム。オフコン時代からの27年にわ たる実績を持ち、中堅・中小企業向け のSMILE ADと、大手・中堅企業向 けのSMILE ieがあります。